



# 自己点検・自己評価表 (平成29年度)

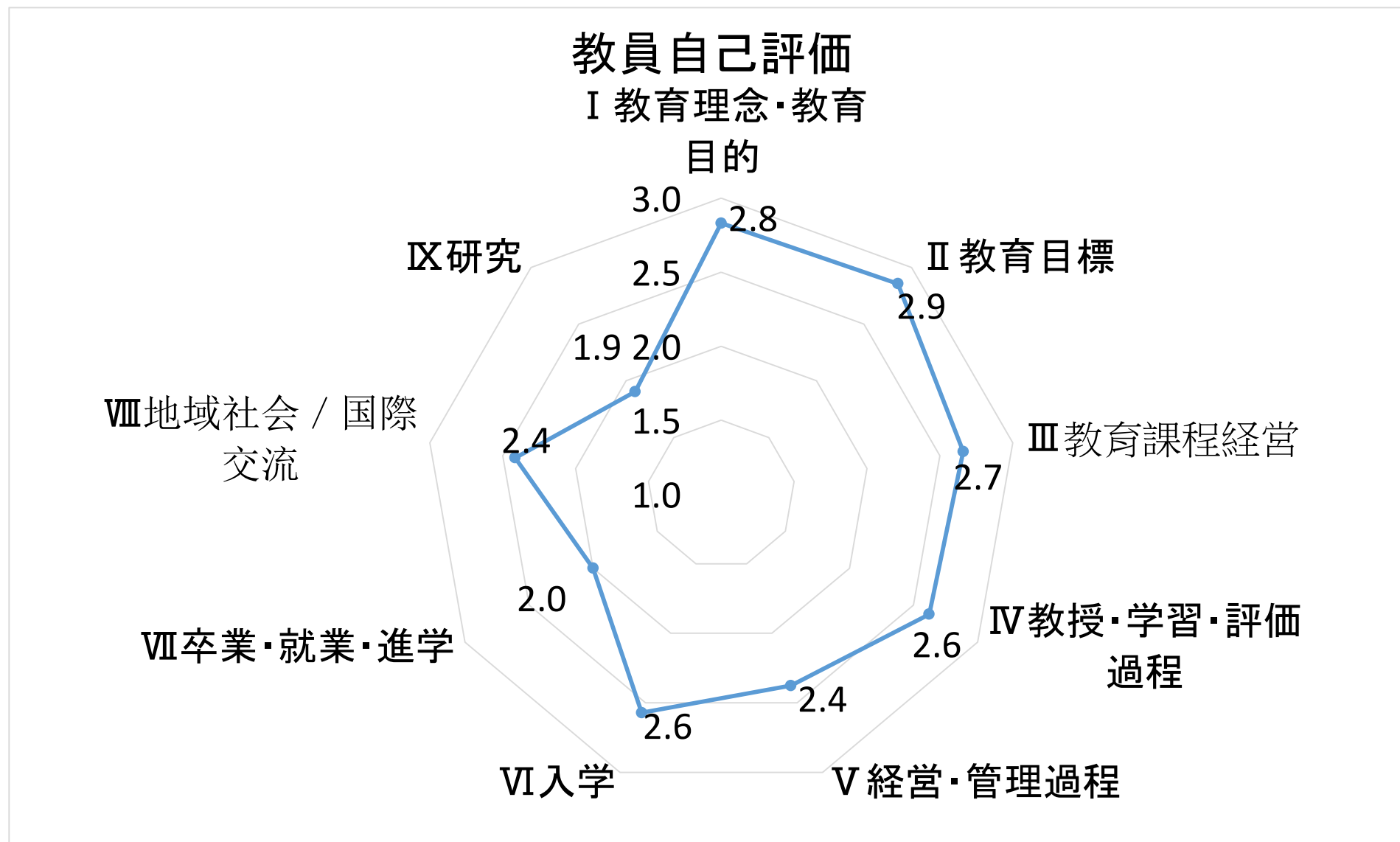


平成30年3月  
広域医療センター  
附属阿久根看護学校

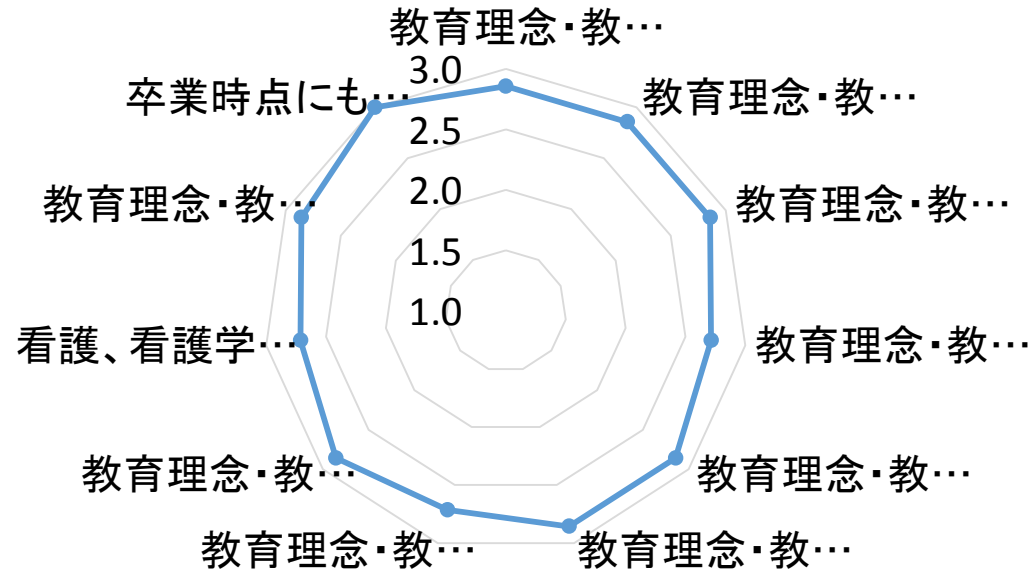
## 自己点検・自己評価表(平成29年度 自己点検・自己評価)

自己点検・自己評価	
I 教育理念・教育目的	2.8
II 教育目標	2.9
III 教育課程経営	2.7
IV 教授・学習・評価過程	2.6
V 経営・管理過程	2.4
VI 入学	2.6
VII 卒業・就業・進学	2.0
VIII 地域社会／国際交流	2.4
IX 研究	1.9
平均	2.5

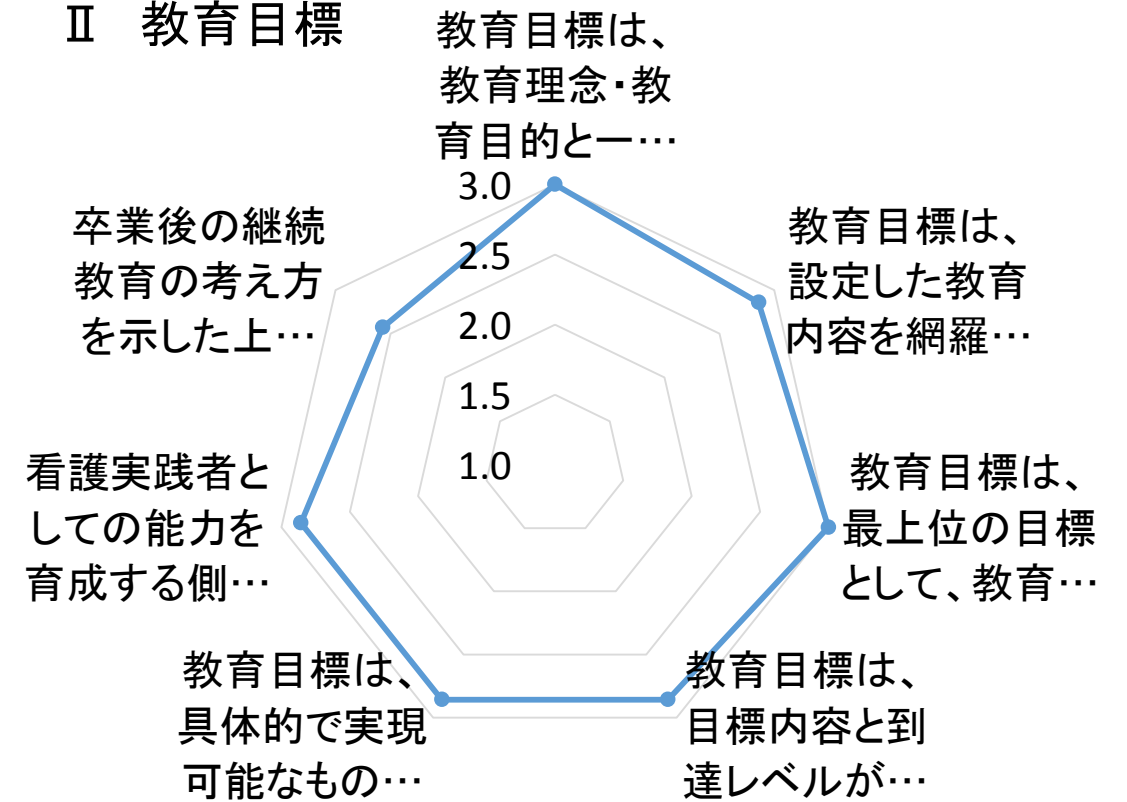
# 教員自己評価



## I 教育理念・教育目的



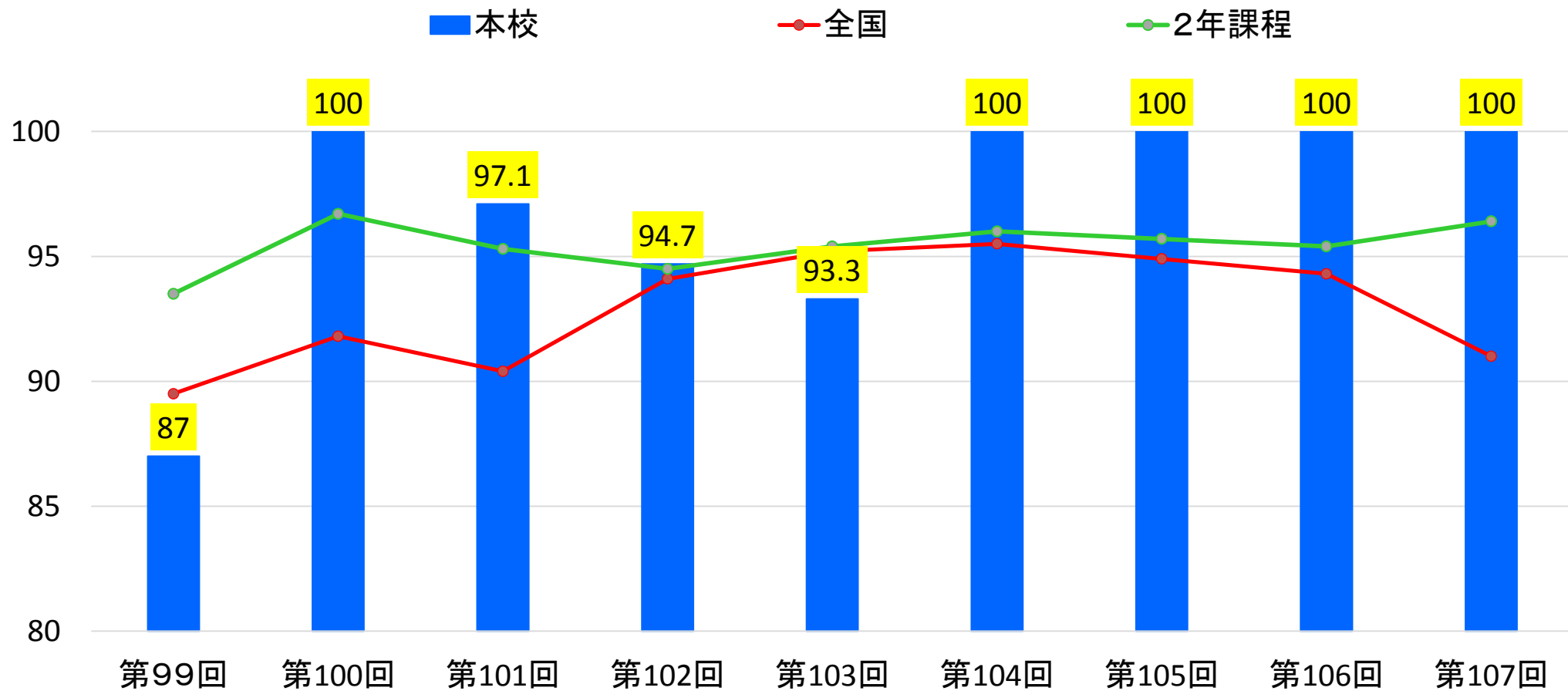
## II 教育目標



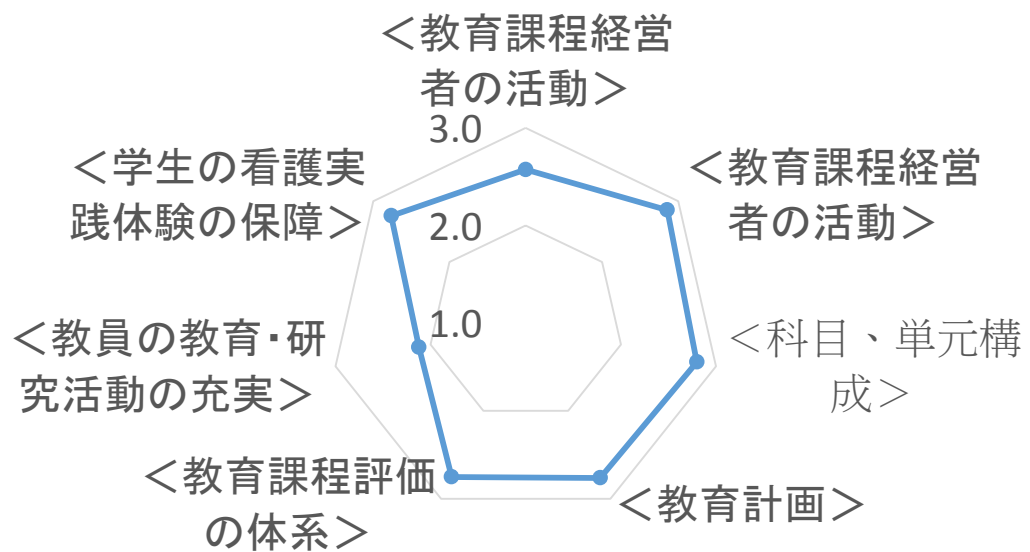
- ・学生便覧に入れ、教員・学生に周知している。教育目標を具体的に各学年の目標としておろし学生に提示し、HRで前期・後期の目標につなげて行動化につなげた。教職員は教育理念・目標について認識し、日常の指導や実習の指導を行っている。
- ・教育理念、教育目標に関しては、構内の掲示、新入生には入学オリエンテーションでの説明や学校理念を学生なりに解釈し発表する時間を設けている。
- ・教育理念や教育目標を各教室やネームの裏面に明示した。

# 看護師国家試験合格率

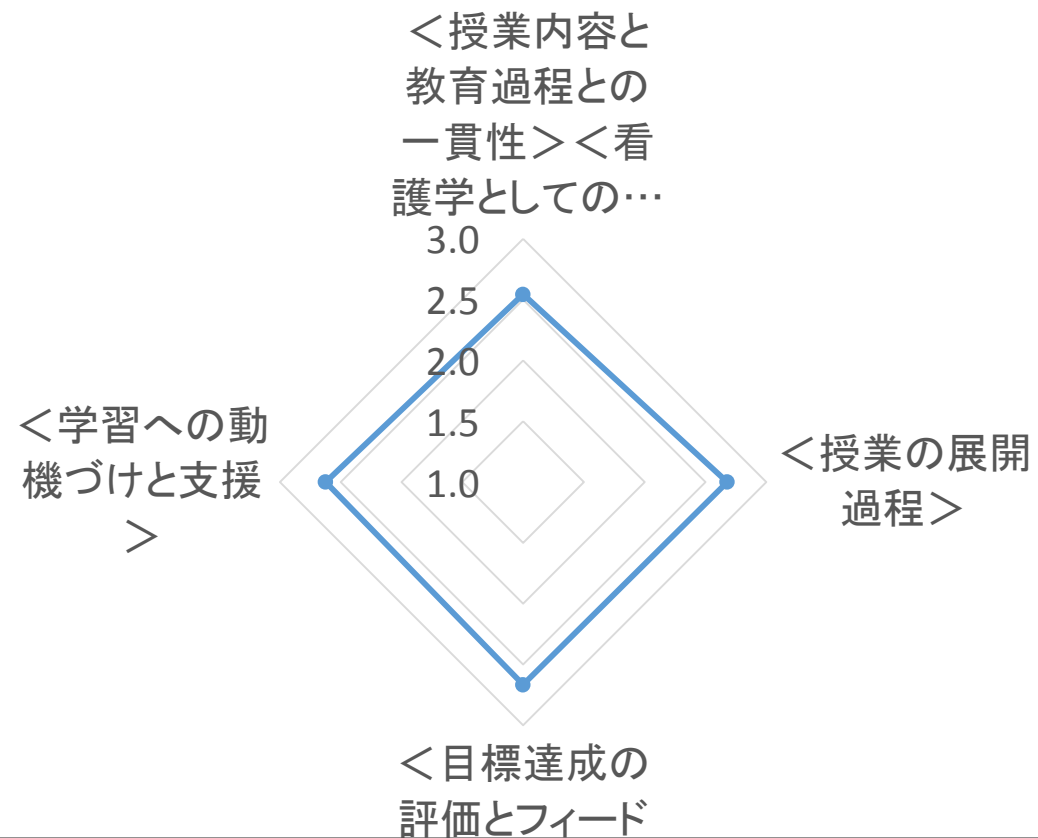
看護師国家試験合格率



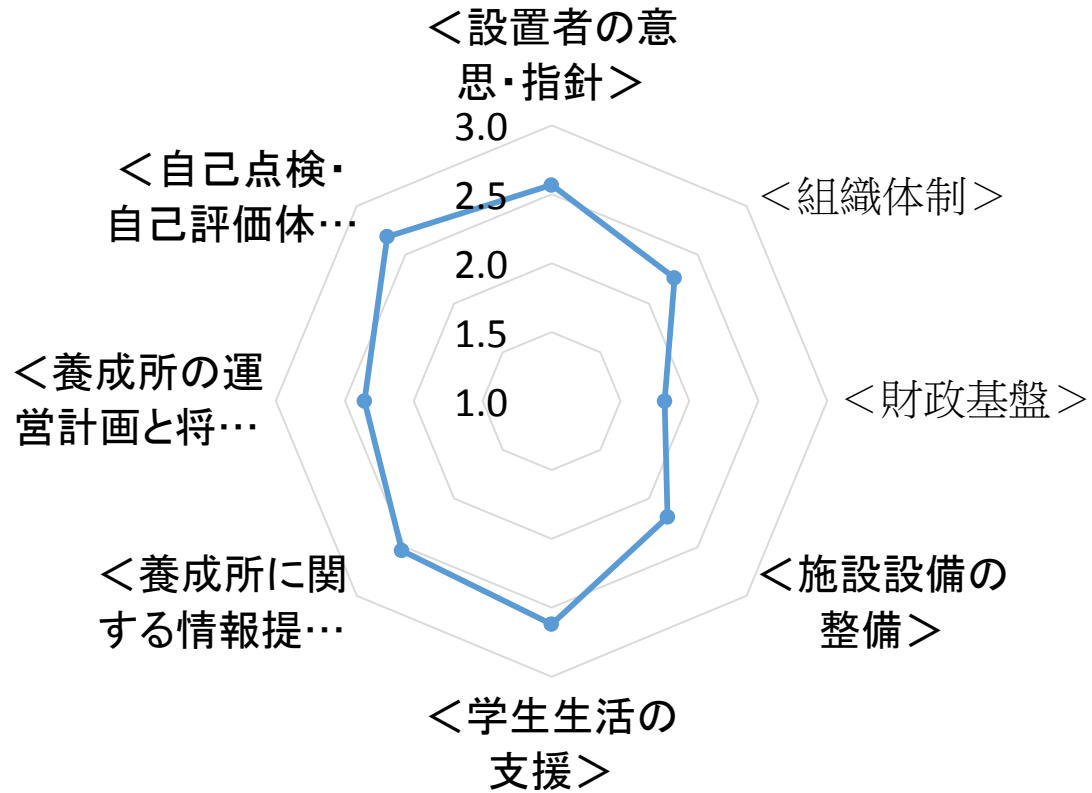
### Ⅲ 教育課程経営



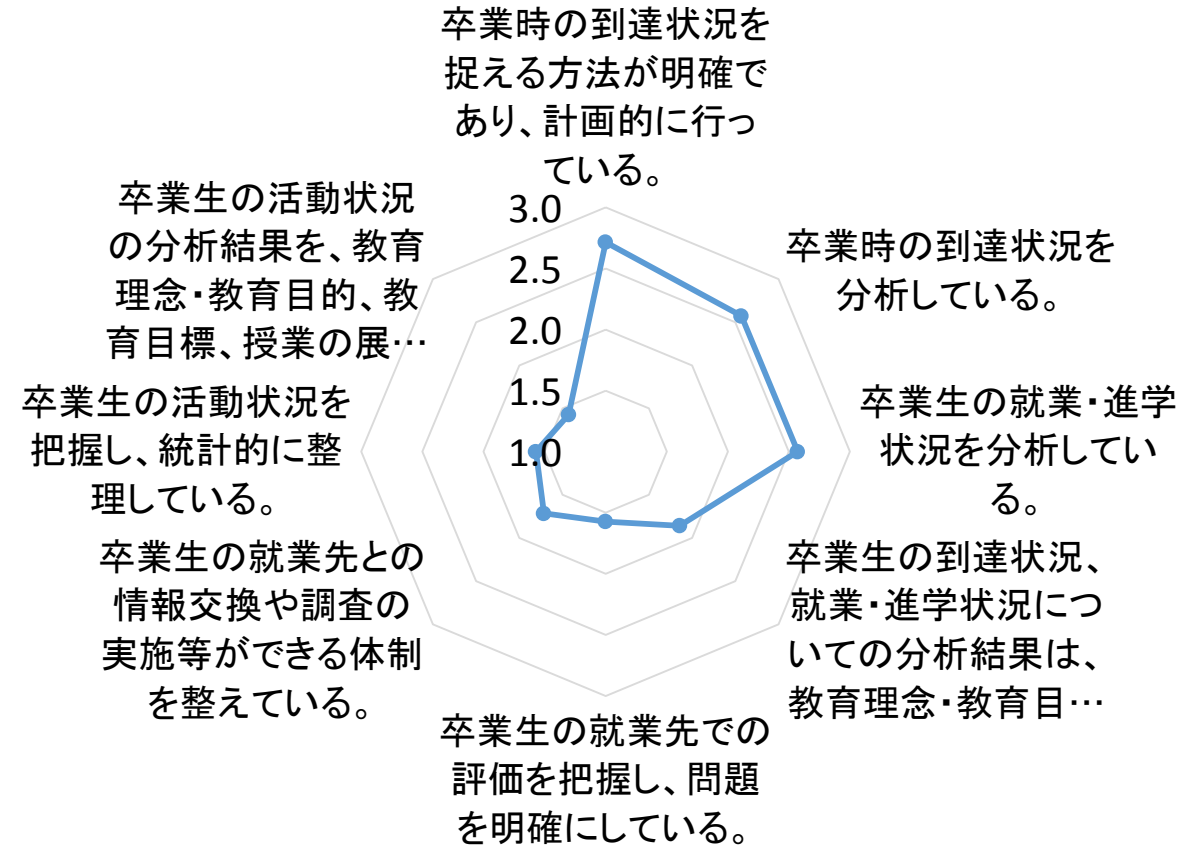
### Ⅳ 教授・学習・評価過程



## V 経営・管理過程



## VII 卒業・就業・進学

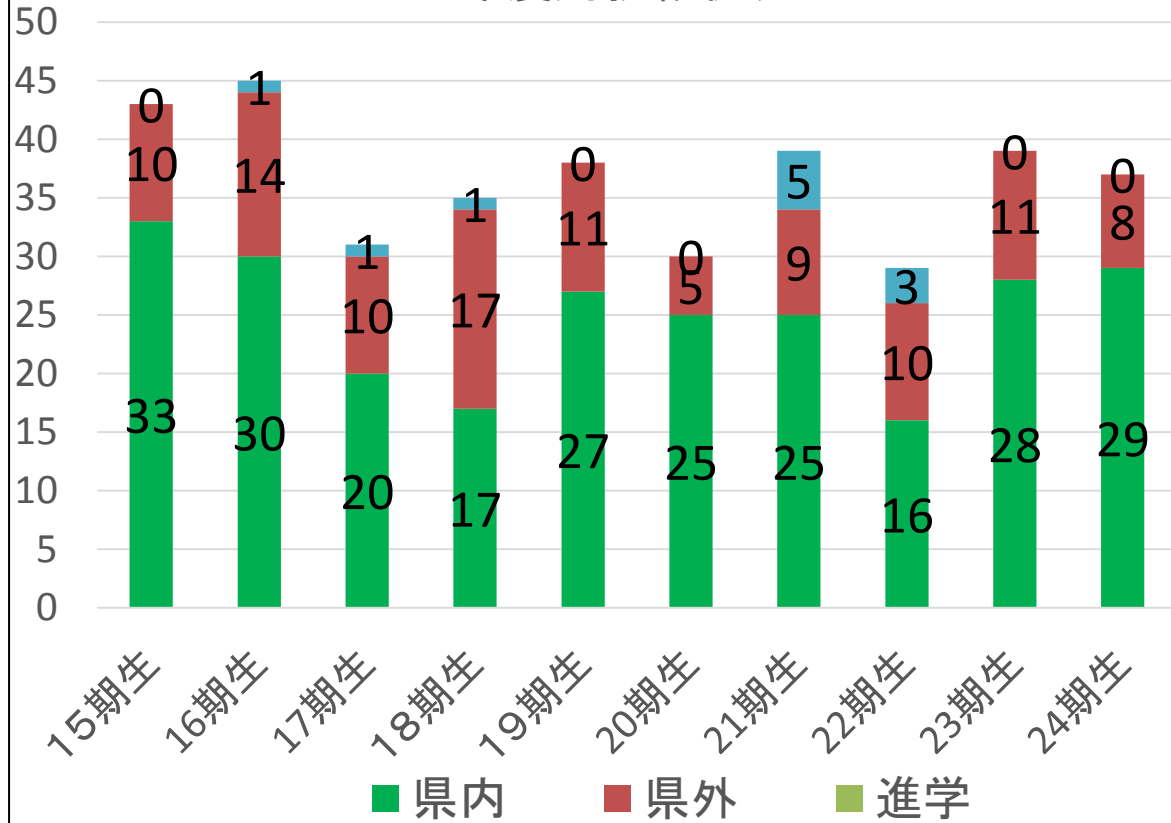


## VI 入学

VI	入学	
1	教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べている。	2.7
2	入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証している。	2.4



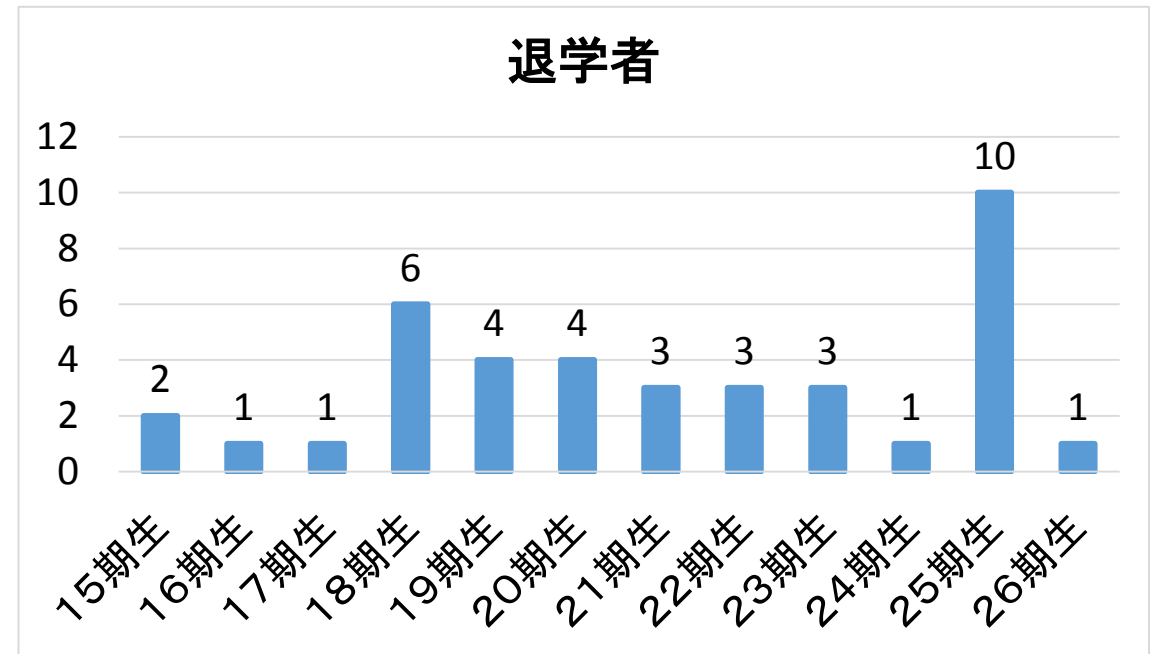
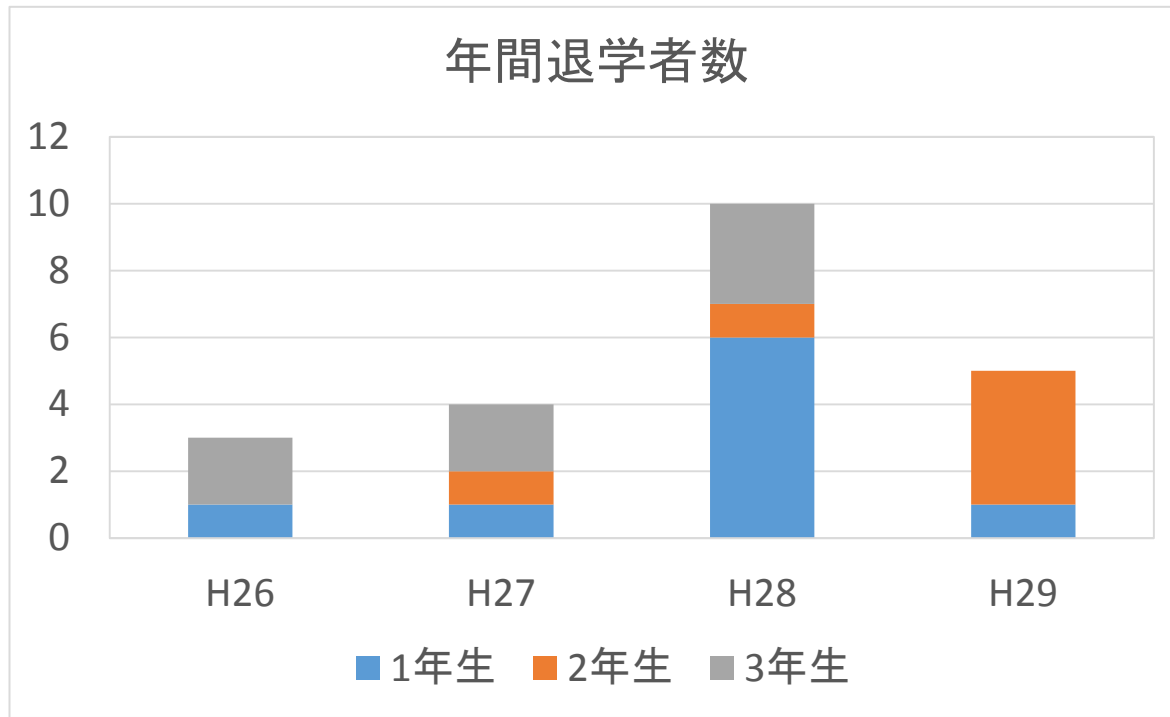
年度別就職状況



平成29年度 県内就職率

県内	出水郡内	13	35%
	出水郡外	16	43%
県外		8	22%
未定者		0	0%
	合計	37	100%

県内就職率 78% (直近3年平均 68%)

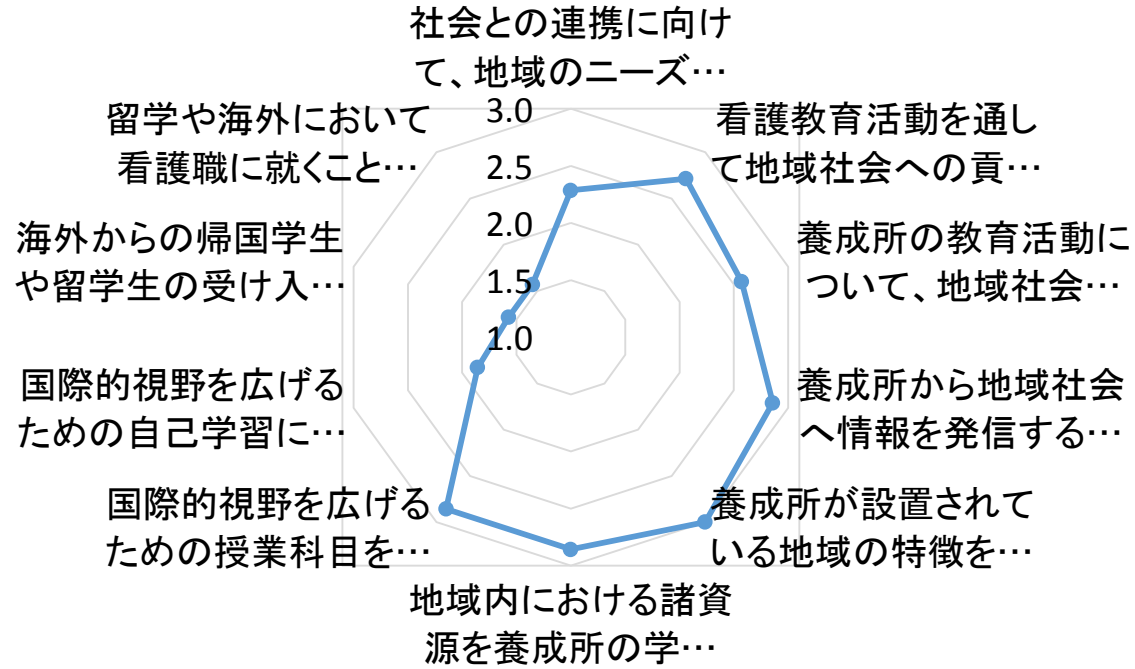


- ・平成29年度も退学者が多かった。学力や経済的理由、身体的問題などそれぞれの理由で退学している。
- ・全学年に定期面接と問題のある学生には臨時面接を行い、学生の気持ちを引き出すような関りを持っている。またストレスチェックを行い必要時は、臨床心理士の面談を組んでいるが、退学者の減少にはつながらなかった。
- ・1年生の退学の傾向としては、経済的な理由や就労しながらの学習に慣れず目標を見失い辞めていくケースが多い。3年生は実習での学習やコミュニケーションの問題で行き詰まり退学になることが多い。いずれにしても教員が問題を早くに把握し、学生と密に関わる必要があると考える。
- ・項目Ⅶは卒業後の進学・編入が把握できていないことで低い結果となった。

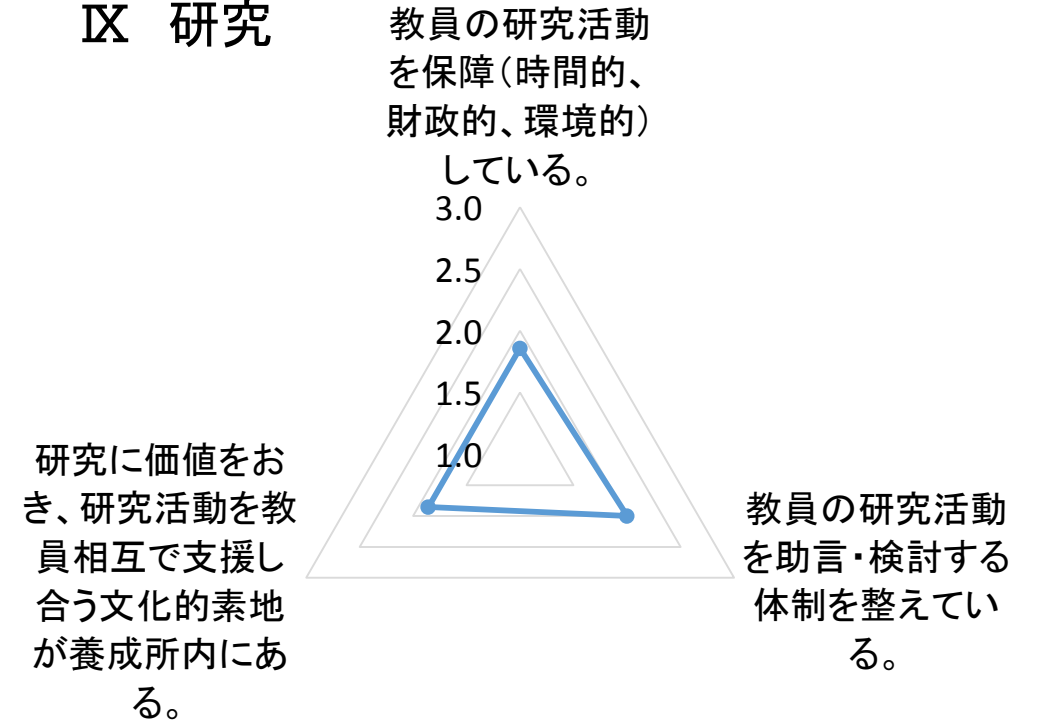
# 在籍の状況(平成30年3月31日現在)

学年	3月在籍	休学者
26期生 (1年生)	35名	3名
25期生 (2年生)	27名 (うち1名は科目履修生)	0名
24期生 (3年生)	39名 (うち1名は科目履修生)	0名
合 計	101名	3名

## VIII 地域社会／国際交流



## IX 研究



- ・項VIIIは、留学生の受け入れや留学支援であるが、地域性、設置主体の役割もあり対象者がいないため低い結果となった。
- ・項目IXは教員の研究的視点が問われる内容である。平成29年度は1例学会で発表したが、継続できていないため評価が低いと考えられる。

## 自己点検・自己評価の結果と課題

- 平均2.5とおおむね良い評価となっているが、Ⅶ卒業・就業・進学、Ⅸ研究の項目が低い結果となった。
- 平成29年度も退学理由は、学力や経済的理由、身体的問題、学力低迷などそれぞれである。教員が問題を早くに把握し、学生と密に関わる必要があると考える。
- 項目Ⅸは教員の研究的視点が問われる内容である。平成29年度は1例学会で発表したけど、継続できていないため評価が低いと考えられる。研究的視点・自己研鑽に関しては、教員の質を上げるためにも公開授業や授業研究に取り組むなど今後の課題である。